

香川県教育委員会 8月臨時会会議録

1. 開催日時 令和6年8月28日(水)
開 会 午後1時00分
閉 会 午後3時35分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

| | |
|-------|-----------|
| 教 育 長 | 淀 谷 圭 三 郎 |
| 委 員 | 藤 澤 茜 |
| 委 員 | 木 下 敬 三 |
| 委 員 | 蓮 井 明 博 |
| 委 員 | 鳥 取 美 穂 |
| 委 員 | 持 田 め ぐ み |

4. 教育長及び委員以外の出席者

| | |
|-------------------|-----------|
| 副教育長 | 海 津 洋 |
| 教育次長兼政策調整監 | 塩 田 広 宣 |
| 教育次長 | 吉 田 智 |
| 総務課長 | 近 藤 高 弘 |
| 高校教育課長 | 長 林 真 司 |
| 特別支援教育課長 | 笠 井 幸 博 |
| 高校教育課長補佐(兼)主任指導主事 | 佐 伯 卓 哉 |
| 高校教育課主任指導主事 | 濱 口 大 |
| 高校教育課主任指導主事 | 水 野 伸 吾 |
| 高校教育課主任指導主事 | 井 上 真 弓 |
| 高校教育課主任指導主事 | 高 鳥 光 郎 |
| 高校教育課主任指導主事 | 栗 田 隼 人 |
| 高校教育課主任指導主事 | 井 川 靖 夫 |
| 高校教育課主任指導主事 | 福 家 浩 一 郎 |
| 特別支援教育課主任指導主事 | 岡 原 昌 代 |
| 特別支援教育課主任指導主事 | 岡 孝 弘 |
| 保健体育課主任指導主事 | 河 合 雄 太 |

傍聴人 なし

5. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第1号は、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若し

くは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に該当すること、また、文部科学省初等中等教育局長名で、静ひつな採択環境を確保し、公正かつ適正な教科書採択を行う旨の通知が出されていることを考慮し、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

6. 議 案

○議案第1号 令和7年度から県立高松北中学校及び県立特別支援学校（中学部）において使用する教科書の採択について（非公開案件）

教育長から、議事の進め方として、協議及び採決を2つの項目に分け、最初に、令和7年度から県立視覚支援学校（中学部）において使用する教科書の一部、次に令和7年度から県立高松北中学校及び県立特別支援学校（中学部）において使用する教科書について、それぞれ協議終了後に採決することについて説明。

- (1) 県立視覚支援学校（中学部）において使用する教科書の一部の採択について
特別支援教育課長から、令和7年度から使用する県立視覚支援学校の中学部の一部の教科書において、全盲の生徒と弱視の生徒が共に学ぶことが考えられるため、文部科学省著作点字教科書が出版される8種目（国語、地理、歴史、公民、数学、理科、英語、道徳）については、過去の採択状況などを踏まえ、その原典となる文部科学省検定済教科書を採択案とすることを説明し、採択について諮る旨、説明。

また、他の科目については、種目ごとに、最初に協議を行い、その後に各委員が学校別に投票し、過半数を得た図書があった学校は、委員に諮った後、当該図書を採択することを説明。

【質疑】なし。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

- (2) 県立高松北中学校及び県立特別支援学校（中学部）において使用する教科書の採択について

教育長から、本議案の採択方法について、以下の説明があった。

- ・ 県立高松北中学校及び県立特別支援学校（中学部）において使用する教科書については、種目ごとに順番に採択を行うこと。
- ・ 種目ごとに、最初に協議を行い、その後に各委員が学校別に投票し、過半数を得た図書があった学校は、委員に諮った後、当該図書を採択すること。
- ・ 投票の結果、過半数を得た図書がなかった学校は、再度、協議を行った後に再投票を行い、過半数を得る図書があるまでこれを繰り返し、過半数を得た

図書があれば、再度、委員に諮った後、当該図書を採択すること。

- ・投票は無記名で行うこと。
- ・会議規則第8条第2項の規定に基づき、開票立会人として持田委員を指名すること。

高校教育課長から、以下の説明があった。

- ・県教育委員会から香川県教科用図書選定審議会へ「採択基準」と「教科書の選定に必要な資料」に関する諮問を行ったこと。
- ・2回行われた同審議会において、県立高松北中学校及び県立特別支援学校（中学部）の教科書採択の流れについて意見を伺ったこと。
- ・同審議会の答申資料である「採択基準」と「教科書の選定に必要な資料」をもとに、独自に設置した香川県立義務教育諸学校教科用図書調査員会で、種目ごとに各発行者の教科書の特徴について調査・研究を行ったこと。
- ・教育長と教育委員が、県立高松北中学校の校長や保護者代表、特別支援学校4校の代表から各校の生徒の実態や教育内容について直接説明を受け、意見交換を行ったこと。
- ・4回開催した勉強会で、高校教育課・特別支援教育課の各教科担当の指導主事や関係学校の職員と共に、時間をかけて研究を行ってきたこと。

①国語

＜事務局説明＞国語の教科書は4社から出版されている。基本的に現行の学習指導要領に沿いながら、豊富なデジタルコンテンツを揃え、ICT技術の活用を意識しつつ、言葉の力を育むことや言語文化に関する内容の充実をさせながら、また他者とのコミュニケーションを取りつつ論理的な思考力を育むことができるものとなっている。

【質疑】

＜委員＞市町の教科書採択についても、8月末までに行わなければならないのか。

＜高校教育課職員＞市町も同様に8月末までに採択し、9月に（採択した教科書を）発表する。

＜教育長＞市町は、市町単位で採択しているのか。

＜高校教育課職員＞採択地区ごとである。

＜教育長＞そうであれば、高松市と三木町は同じか。

＜高校教育課職員＞そうである。

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | | | | | |
|--|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|--|--------|--------|--------|--------|---------|

| | | | | | |
|--------|----|-----|----|----|----|
| 東京書籍 | | | 1票 | 1票 | |
| 三省堂 | | | | | |
| 教育出版 | | | | | |
| 光村図書出版 | 6票 | 採択済 | 5票 | 5票 | 6票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は光村図書出版、聴覚支援学校も光村図書出版、高松支援学校も光村図書出版、善通寺支援学校も光村図書出版を採択することに決した。

②書写

＜事務局説明＞書写の教科書は4社から出版されている。各教科書とも工夫が見られ、書き方のポイントが分かりやすく示されている教材や、手書きや行書の意味を考えることができる教材、また、社会生活、日常生活で生きる力の養成を目指した教材などがある。さらに、練習ページが豊富に用意されたもの、別冊で練習帳が付録されているものもある。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | 6票 | | 2票 | 5票 | 5票 |
| 三省堂 | | | | | |
| 教育出版 | | 5票 | 4票 | 1票 | |
| 光村図書出版 | | 1票 | | | 1票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は東京書籍、視覚支援学校は教育出版、聴覚支援学校も教育出版、高松支援学校は東京書籍、善通寺支援学校も東京書籍を採択することに決した。

③社会（地理的分野）

＜事務局説明＞地理の教科書は4社から出版されている。グローバル化の進展や、地球的課題への対応が求められる中で、学習指導要領では、世界の諸地域の学習において、常に地球全体、人類全体にかかわる課題を扱うことや自然災害、防災に関する内容を重視した学習が求められている。また、様々な統計資料や写真を適切に選択して、必要な情報を読み取る地理的技能や、資料から現状を分析して対応策を構想する力など、地理的思考力を身に付けることが大切である。それらの観点から、地理の教科書は、資料の質と量が重要である。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | 1票 | | | | 1票 |
| 教育出版 | | 採択済 | | | |
| 帝国書院 | 5票 | | 6票 | 6票 | 5票 |
| 日本文教出版 | | | | | |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は帝国書院、聴覚支援学校も帝国書院、高松支援学校も帝国書院、善通寺支援学校も帝国書院を採択することに決した。

④社会（歴史的分野）

＜事務局説明＞歴史の教科書は9社から出版されている。歴史の学習においても学習内容に見通しを持たせ、生徒が主体的に時期や推移、因果関係など、歴史的な見方や考え方を働かせながら、歴史的事象の背景や影響を多面的に考察させる力が求められる。また、生徒同士の議論を活発にさせることにより、知識や技能を身に付けさせることも大切であり、そのためには、問いを適切に設定するとともに、年表や地図、写真や統計資料などを適切に提示することが重要である。また、各時代を大観して大きな流れや特色を理解することや、我が国の歴史と世界の歴史や文化が相互に深く関わっていることを理解することが求められている。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | | | | | |
| 教育出版 | | 採択済 | | | |
| 帝国書院 | 6票 | | 6票 | 6票 | 6票 |
| 山川出版社 | | | | | |
| 日本文教出版 | | | | | |
| 自由社 | | | | | |
| 育鵬社 | | | | | |
| 学び舎 | | | | | |
| 令和書籍 | | | | | |

投票結果により、過半数を得た地図について各委員に諮り、高松北中学校は帝国書院、聴覚支援学校も帝国書院、高松支援学校も帝国書院、善通寺支援学校も帝国書院を採択することに決した。

⑤社会（公民的分野）

＜事務局説明＞公民の教科書は6社から出版されている。公民は地理と歴史の基礎の上に学習を行い、現代社会にみられる課題の解決を視野に入れ、主体的に社会と関わろうとする態度を養うことが目標である。実社会に繋げていく重要な学習であり、その中において現代社会をとらえ、考察するための概念をしっかりと理解させることや、実際の日常生活と関連付けて、政治や経済の仕組みの意義や働きを考察させることが求められる。また、公民の学習は、社会科の学習でまとめと位置付けられており、持続可能な社会を作る観点からも、課題を設定して探究させる学習を通して、自らの考えを説明し、論理的に論述させることが重視とされている。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | | | 5票 | 1票 | |
| 教育出版 | | 採択済 | | | |
| 帝国書院 | 6票 | | 1票 | 5票 | 6票 |
| 日本文教出版 | | | | | |
| 自由社 | | | | | |
| 育鵬社 | | | | | |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は帝国書院、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校は帝国書院、善通寺支援学校も帝国書院を採択することに決した。

⑥地図

＜事務局説明＞地図の教科書は2社から出版されている。地理以外でも歴史や公民でも活用される必要がある。掲載されている主題図や統計資料が多いものが、様々な学習場面において有効に活用できる。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | | | | | 1票 |
| 帝国書院 | 6票 | 6票 | 6票 | 6票 | 5票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は帝国書院、視覚支援学校も帝国書院、聴覚支援学校も帝国書院、高松支援学校も帝国書院、善通寺支援学校も帝国書院を採択することに決した。

⑦数学

＜事務局説明＞数学の教科書は7社から出版されている。中学校の数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して数学的に考える資質、能力を育成することを目標としている。身の回りにある例を取り上げたり、学習した内容を発展させる課題を設定したりすることが重要である。また、問題解決の見通しを立てる場面や、振り返りの単元を設定する必要がある。算数・数学においては、反復スパイラル形式での学びになっている。

【質疑】

＜教育長＞数学で躓く者が多いのは、どの時期か。数学が嫌いになる時期はいつか。
＜高校教育課職員＞数学が嫌いな生徒は多いと思う。高松北中学校の授業を見ると、身の回りのことから話題を取り上げ、少しでも生徒の興味を引くように工夫している。

躓くタイミングは人それぞれである。小学校から中学校に入ったときは、文字の概念が出てきて、具体的な算数の世界から、概念的な世界に入るため、躓く者が多いと聞いている。

＜委員＞躓く者は、分数などが出てきた小学校2、3年生で躓いている。

＜教育長＞そのリカバリーはどのようにしているのか。リカバリーできなければ、わからないままになる。方程式の授業をしても理解できないから、リカバリーの授業を行うのか。

＜高校教育課職員＞計算で躓く者には反復練習が有効なので、それを行い、概念的なところで躓く者には個別指導を行っていると言っている。

＜委員＞私が関わっている生徒で数学が苦手な者は、受検の時、大問1だけでも頑張ろうと言っていた。

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|--|--------|--------|--------|--------|---------|
|--|--------|--------|--------|--------|---------|

| | | | | | |
|----------|----|-----|----|----|----|
| 東京書籍 | | | | | |
| 大日本図書 | | | | | |
| 学校図書 | | | | | |
| 教育出版 | | | | | |
| 新興出版社啓林館 | | | | | |
| 数研出版 | 6票 | 採択済 | 6票 | 6票 | 6票 |
| 日本文教出版 | | | | | |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は数研出版、聴覚支援学校も数研出版、高松支援学校も数研出版、善通寺支援学校も数研出版を採択することに決した。

⑧理科

＜事務局説明＞理科の教科書は5社から出版されている。理科では、自然の事物・現象の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究しようとする態度を養う事を目標としている。物理・科学分野を中心に科学技術の発展と人間生活の関わりの認識を深めるようにしたり、生物・地学分野を中心に生命を尊重し、自然環境の保全に関する態度を養ったりして自然を総合的に見るように学習している。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | | 採択済 | | 1票 | 4票 |
| 大日本図書 | | | | | |
| 学校図書 | | | | 5票 | 2票 |
| 教育出版 | | | | | |
| 新興出版社啓林館 | 6票 | | 6票 | | |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は新興出版社啓林館、聴覚支援学校も新興出版社啓林館、高松支援学校は学校図書、善通寺支援学校は東京書籍を採択することに決した。

⑨音楽（一般）、⑩器楽

＜事務局説明＞音楽は一般と器楽に分かれており、音楽の教科書は各2社から出版されている。音楽では表現及び鑑賞の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え

方を働かせて身近な生活や社会と音楽文化などを豊かに、資質や能力を育むことを目的としている。音楽の一般と器楽の教科書も他教科同様に「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に沿って構成されている。

【質疑】なし

音楽（一般）

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 教育出版 | 1票 | | 1票 | 6票 | 1票 |
| 教育芸術 | 5票 | 6票 | 5票 | | 5票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は教育芸術、視覚支援学校も教育芸術、聴覚支援学校も教育芸術、高松支援学校は教育出版、善通寺支援学校は教育芸術を採択することに決した。

器楽

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 教育出版 | 1票 | | 1票 | 6票 | |
| 教育芸術 | 5票 | 6票 | 5票 | | 6票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は教育芸術、視覚支援学校も教育芸術、聴覚支援学校も教育芸術、高松支援学校は教育出版、善通寺支援学校は教育芸術を採択することに決した。

⑪美術

＜事務局説明＞美術の教科書は3社から出版されている。美術の教科書は3社ともに、題材ごとに身に付けさせたい力が、学習指導要領に示された3つの柱、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」における目標として明記されている。美術においては造形的な見方・考え方をもとに表現と鑑賞の関連性に重きをおいている。表現領域と鑑賞領域で資質、能力を育成する観点から各社の教科書は工夫して作られており、学習の連続性も大切にしている。図画工作から美術、高校の美術Ⅰにつながる流れが考えられている。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 開隆堂出版 | | | | | |
| 光村図書出版 | 5票 | 5票 | 5票 | | 5票 |
| 日本文教出版 | 1票 | 1票 | 1票 | 6票 | 1票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は光村図書出版、視覚支援学校も光村図書出版、聴覚支援学校も光村図書出版、高松支援学校は日本文教出版、善通寺支援学校は光村図書出版を採択することに決した。

⑫保健体育

＜事務局説明＞保健体育の教科書は4社から出版されている。学習指導要領では、保健体育の目標は体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって自身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを送るための資質能力を育成することと示されている。4社とも学習課題を見つけ、知識を活用して課題を解決する力を養うことが大切にされており、十分な内容であると考えられる。また、主体的、対話的、深い学びの実現に向けた観点でも4社とも自分の生活の中に活かせる内容や、より探究力を磨いていける項目など、さらに発展した発問が数多く用意されており、それぞれ工夫をされている。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | 6票 | | | | |
| 大日本図書 | | | 5票 | | |
| 大修館書店 | | 1票 | 1票 | 6票 | |
| 学研教育みらい | | 5票 | | | 6票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は東京書籍、視覚支援学校は学研教育みらい、聴覚支援学校は大日本図書、高松支援学校は大修館書店、善通寺支援学校は学研教育みらいを採択することに決した。

⑬技術・家庭科（技術分野）

＜事務局説明＞技術の教科書は3社から出版されている。技術の教科書の目標としては、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質能力を育成することを目指している。教科書の目標でもある技術の見方・考え方を働かせ、制約された条件の中で最適な解決策を見出すことがこの教科書の大切なところであり、多面的、多角的に考えることが重要であるため、実践的、体験的な活動を重視している。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|-------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | 6票 | 1票 | 1票 | 6票 | 6票 |
| 教育図書 | | | 5票 | | |
| 開隆堂出版 | | 5票 | | | |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は東京書籍、視覚支援学校は開隆堂出版、聴覚支援学校は教育図書、高松支援学校は東京書籍、善通寺支援学校も東京書籍を採択することに決した。

⑭技術・家庭科（家庭分野）

＜事務局説明＞家庭科の教科書は3社から出版されている。家庭科の授業は3年間を通して週1回1時間行っており、3年間使う教科書である。家庭分野の目標は衣食住などに関する実践的体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し、想像する資質能力を育成することを目指している。いずれの教科書も題材ごとに最初に目標や問いかけがあり、最後に振り返りができるような構成になっているため、生徒の思考力を高め、主体的対話的で深い学びができるようになっている。また、生活の中で活かせる実習例や実験で学習の参考となる資料を取り上げており、実践的、体験的な学習活動や課題設定、課題解決に向けた学習内容が充実しているため、教科書での学びが生徒の実生活や地域社会と結びつきやすくなっている。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|-------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | 5票 | | | 6票 | |
| 教育図書 | | | 6票 | | 6票 |
| 開隆堂出版 | 1票 | 6票 | | | |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は東京書籍、視覚支援学校は開隆堂出版、聴覚支援学校は教育図書、高松支援学校は東京書籍、善通寺支援学校は教育図書を採択することに決した。

⑮英語

＜事務局説明＞英語の教科書は6社から出版されている。学習指導要領の目標である外国語によるコミュニケーションにおける見方、考え方を働かせ、言語活動を通して表現し合ったりするコミュニケーションをする資質能力を育むことを達成すべく6社すべての教科書において生徒の英語による言語活動が多く取り入れられた構成になっている。また、各レッスンのテーマにおいて、多文化共生や国際理解の論理的な課題が扱われている。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | 6票 | | 5票 | | |
| 開隆堂出版 | | | 1票 | 6票 | 1票 |
| 三省堂 | | | | | |
| 教育出版 | | 採択済 | | | |
| 光村図書出版 | | | | | |
| 新興出版社啓林館 | | | | | 5票 |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は東京書籍、聴覚支援学校も東京書籍、高松支援学校は開隆堂出版、善通寺支援学校は新興出版社啓林館を採択することに決した。

⑯道徳

＜事務局説明＞道徳の教科書は7社から出版されている。道徳については道徳的諸価値の理解をもとに自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、姿勢と態度を育てることを目標としており、各出版社が22の内容項目に即した

題材で、生徒自身が考えることのできる授業展開方法や関連した資料を掲載している。

【質疑】なし

各委員に諮り、投票を行った。

◇投票結果

| | 高松北中学校 | 視覚支援学校 | 聴覚支援学校 | 高松支援学校 | 善通寺支援学校 |
|----------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 東京書籍 | | | 5票 | 5票 | |
| 教育出版 | | 採択済 | | | |
| 光村図書出版 | 6票 | | 1票 | 1票 | 1票 |
| 日本文教出版 | | | | | 5票 |
| 学研教育みらい | | | | | |
| あかつき教育図書 | | | | | |
| 日本教科書 | | | | | |

投票結果により、過半数を得た教科書について各委員に諮り、高松北中学校は光村図書出版、聴覚支援学校は東京書籍、高松支援学校も東京書籍、善通寺支援学校は日本文教出版を採択することに決した。